

潜入!! 工事現場

途ちゅアフター

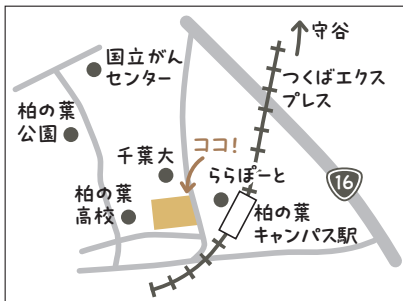
第2回 >>> 英国の伝統ある名門校「ラグビー校」



トチュー調査員

こんにちは! 僕の名前はトチューです。今回は柏の葉に建設中の首都圏で初めて誕生する学校に潜入するよ! どんな学校なんだろう...ワクワクするな~

ここは(仮称) Rugby School Japan といって、英国の伝統ある名門校の一つ「ラグビー校」の日本校が建設されています。ラグビー校と言ってもラグビー選手の学校ではなく、英語での教育が行われるインターナショナルスクールです。対象年齢は12~18歳で、主に日本在住の外国籍の子どもを対象にしています。



全校生徒が一斉に利用できる
食堂兼講堂



食堂の中にバルコニー?!

トチュー調査員の もっと知りたい!

Q1 スポーツのラグビーとどういう関係なの?

A 英国の本校が、「ラグビー発祥の地」といわれており、スポーツのラグビーの名称は学校名が由来となっています

Q2 日本人も入学できるの?

A 国籍問わず可能ですが、英語での生活環境に順応できるかも受験時の判断の一つになります



オシヤレステキ

ラグビー校の顔となるエンブレム

英国ラグビー校の歴史は、およそ450年前から読み書きなどを教える寺子屋のように始まり、地域と深くつながりながら今日まで続いているそう。世界的に有名な某魔法学校映画のイメージに限りなく近い伝統と格式のある学校です。

この現場では、校舎、寄宿舍、食堂、屋内プールなど計10の建物を同時進行で工事しています。鉄骨構造、RC構造、木造を取り入れた建物などさまざま、国際規格のラグビー場(運動場)や屋内プールなどがあることから施設へのこだわりがみられます。建材や照明器具などを外国から取り寄せることも多く、30年のベテランである現場監督さんでさえも初めて取り扱うものが複数あったそうです。

食堂は、ガラス張りの明るく開かれた空間で、木造の屋根は内側から梁(はり)がみえる特徴的な構造になっています。英国らしさを意識して梁を黒く塗装すると聞き、木目が見えなくなってもいいと思うのは日本人的な感覚なのかもしれません。

完成予想図



エレガントツ!!

日本の学校と違い、9月から新学期を迎えるため作業も終盤に差しかかっています。開校後は、正門から入った敷地の一部を一般開放する予定だそうで、今から楽しみです! 協力いただいた現場の皆さんありがとうございました。